資料①

「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、「言葉に着目し、意味や役割、効果を考え、意識して使おうとすること」　R5年度　言語部

○言葉による「見方」　…言葉の意味や効果、言葉の働き　→学習指導要領 国語：知識及び技能（1）言葉の特徴や使い方に関する事項 「語彙」「表現の技法」「文や文章」 参照

○言葉による「考え方」…関係を捉えるときに働く概念的思考　→学習指導要領 国語：知識及び技能（2）情報の扱い方に関する事項　「情報と情報の関係」「情報の整理」参照

○「言葉による見方・考え方を働かせる」…言葉の「見方」に着目し、「例：比較」して考え、判断する（＝意識して使おうとする）こと

言葉による見方

これらの言葉に着目し　助詞等もあり

語彙　：低 身近なことを表す語句　中 様子や行動、気持ちや性格を表す語句　高 思考に関わる語句

表現の技法：高 比喩・反復などの表現の工夫（1～4年でも頻繁に見られる）→全学年　比喩・反復などの表現の技法

文や文章　：低 主・述の関係　中 主・術　修飾・被修飾　指示語・接続語、段落の役割　高 語句の係り方や語順　文と文　構成や展開　種類と特徴

言葉による考え方

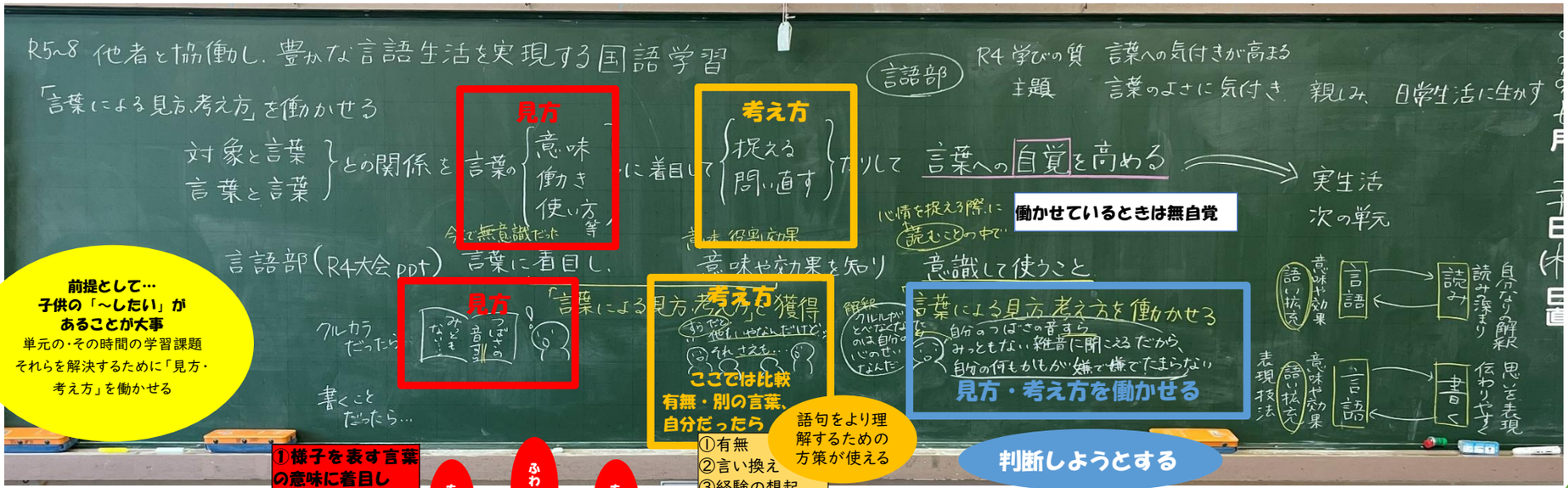
この考え方を使って（例：比べて）考え、

低 比較・類推

中 比較・類推・因果・分類

高 比較・類推・因果・分解・抽象化・具体化・系統化・一般化

言語部の「読むこと」では…（～R4）



言葉への自覚の高まり

副助詞に着目して、意味を比較することで、登場人物の心情がもっと詳しく分かるんだね。（ふりかえることで自覚する）

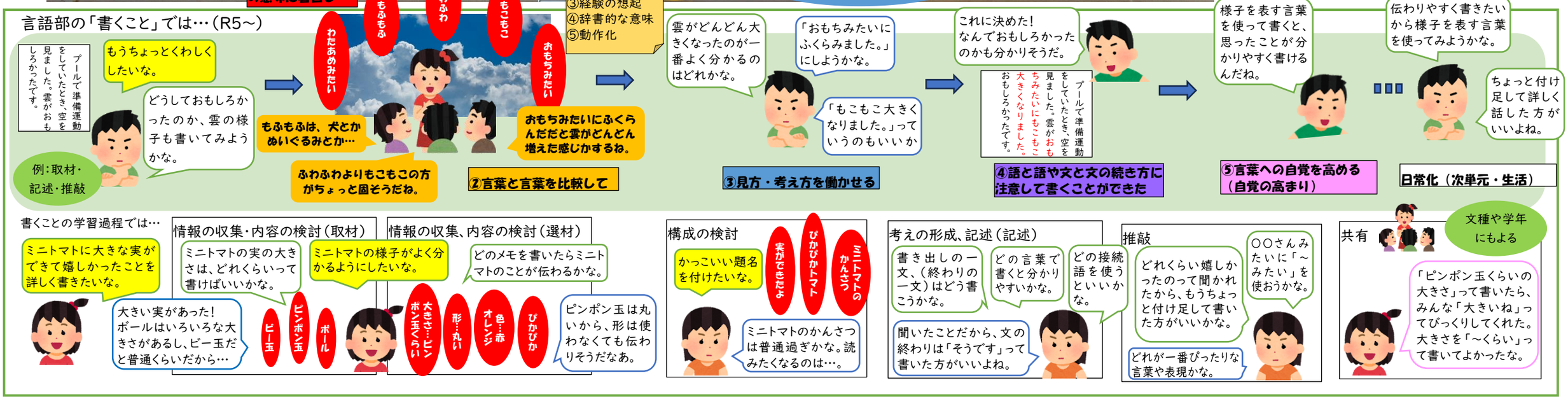
振り返りが大事！



資質・能力（指導事項）

描写に着目して登場人物の心情を捉える

言語部の「書くこと」では…（R5～）



書くことの学習過程では…